

請 願 番 号	請願第10号
件 名	コロナ対策で小・中学校の給食費の無償化を求める請願
受 理 年 月 日	令和3年11月25日
紹 介 議 員	井深正美、森下満寿美、堀田信夫、松原徳和、服部勝弘、 田中成佳、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>現在、岐阜市では全ての小・中学校において学校給食が実施されている。学校給食は子どもの心身の健全な発達を助けるものであり、食育及び食の安全、安心の観点からも大きな役割を果たしている。また、厳しい予算の中、調理現場において献立や食材の工夫によって対応されていることに感謝している。</p> <p>子どもたちは、みんなと一緒に食べる学校給食を楽しみにしている。しかし、昨今、格差や貧困が広がり、子どもの貧困率が社会問題となる中、給食費を滞納、未納する家庭が存在する。さらには、コロナ禍における経済的困窮のさらなる拡大により雇用状況が悪化する中、収入が減少し、生活が困窮する家庭が増えている。経済的に苦しくなったとき家計で切り詰めるのは食費である。</p> <p>また、国民生活基礎調査によると、子どものおよそ7人に1人が貧困と言われており、朝御飯抜きで登校するなど、食事もまともに取れない子どもが増えている。</p> <p>岐阜市議会の本会議では、学校給食の無償化について、就学援助制度等により学校給食は実質無償であると繰り返し答弁されていたが、今年度の就学援助の申請において163人の子どもが却下されている。これでは実質無償とは言えない。義務教育は無償という日本国憲法第26条の原則からも給食は無償であるべきと考える。</p> <p>今、緊急なコロナ対策として、子育て世代の経済的な負担軽減を図るために給食費を無償化する自治体が相次いでいる。岐阜市においてもコロナ対策として様々な助成、給付を行っているが、長期の対策が求められている。</p> <p>よって、子どもの命と健康を守るため、また、子どもや保護者の不安解消のため、下記事項を請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 コロナ対策として、保護者の経済的負担の軽減のための緊急措置として、小・中学校における学校給食費の無償化を行うこと。</p>	
審 議 結 果	令和 3年12月13日 (月) 不採択